



青森市ボランティアアドバイザー連絡会とは・・・

目的

青森市民に幅広くボランティア活動を啓発し、地域社会のニーズに応えるため、ボランティア活動を希望する市民とボランティアセンター等の窓口をつなぎ、ボランティアにとって最も身近で利用しやすい活動支援体制をつくり、地域社会で永続的に展開できるよう福祉ボランティアの街づくり事業を推進することを目的とする。

(設置要綱文要約)

組織

設立年月日	平成 13 年 11 月 1 日
役員体制	会長 1 名 副会長 2 名
会員数	29 名 (2019.3.1.現在)
事務局	社会福祉法人青森市社会福祉協議会内 〒030-0802 青森市本町 4 丁目 1-3 電話 017-723-1340

役員一覧

〔任期〕

2018.4.1~2020.3.31

会長 佐藤 照代 (油川地区)
副会長 伊藤 悦子
(青森市レクリエーション協会)
副会長 竹山 信子 (沖館地区)

事業

- 【1】 市民啓発推進に関する事業
- 【2】 ボランティアの活動に関わる基盤づくり事業
- 【3】 ボランティアアドバイザーの資質向上に必要な事業
- 【4】 その他ボランティア活動を展開するために必要な事業

(設置要綱文要約)

活動紹介

地域防災訓練

去る9月29日、油川市民センターを会場に、油川地区社会福祉協議会、青森市社会福祉協議会主催の「油川地区地域防災訓練」が行われ、当ボランティアアドバイザー連絡会では、防災にかかる研修の一環として、地域防災訓練開催時に災害ボランティアセンターの運営ボランティアとして参加しております。今回は、会員9名が災害ボランティアの受け付けや誘導等のお手伝い、災害ボランティアセンターの運営について知識を深めました。



災害ボランティア受付訓練の様

活動紹介

ふくしねぶたへの協力

「ふくしねぶた」は、毎年8月4日に運行団体であるヤマト運輸ねぶた実行委員会のご協力のもと、障がい児・者施設、団体からの参加者をサポートするボランティアを募り、相互の親睦と交流を深めることを目的として実施されています。当ボランティアアドバイザー連絡会では毎年、ふくしねぶたへ参加・協力をしています。



沿道の観光客へ花笠マスコットを配布しPR活動を行っています



花笠マスコットづくりの様子

施設見学

継続会員研修の一環として他地域の施設を見学し、会員の資質向上を図ることを目的に毎年実施しています。平成30年度は、11名が参加し、10月3日～4日の日程で十和田市・田子町方面へ行きました。新渡戸記念館や稲生川水利事業の歴史、日本ユネスコ未来遺産に登録された「太素の水プロジェクト」の概要について学びました。田子町「みろくの滝」を散策し、みんなで山の新鮮な空気を吸い込みリフレッシュしました。



みろくの滝を背景に記念撮影

新渡戸記念館でボランティアガイドの方による説明



活動紹介

定例会・研修会

各会員が所属する地域、団体内のボランティア意識を高めるなど、ボランティアを支援する役割について協議したり会員同士が情報交換をすることを目的に年5回開催。うち、2回は定例会後に研修を行い、会員の資質向上を図っています。



定例会会議の様子



車いす体験の様子

私たちと一緒に活動しませんか？

青森市ボランティアアドバイザー連絡会

会員募集中!!

【 入会条件 】

青森市内の地域や各機関・団体で
ボランティア活動経験のある方

※入会にあたり会費はかかりません。

お問合せは事務局へご連絡ください



ボランティアの 要請に対する協力



ボランティアセンターを通じて市内の施設等から派遣要請を受けた場合、会員のボランティア派遣を行い、積極的に地域へ貢献しています。

